

<報道発表資料>
(府同時)

令和 8 年 1 0 月 2 3 日
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

IVS2025 公式サイトで利用していた Web 制作サービス 「Studio」で発生した不正アクセス事案による 個人情報漏洩の可能性

京都市では、株式会社 Headline Japan（以下「HL 社」という。）、京都府の 3 社により、IVS KYOTO 実行委員会（以下「実行委員会」という。）を組織し、2023 年以降、4 年連続で IVS の京都開催を行っております。

このたび、IVS2025 公式サイト（以下「当該サイト」という。）で利用していた Web 制作サービス「Studio」に対する第三者からの不正アクセスを受け、当該サイトのフォーム回答について流出の可能性がある事案が発生しました。

● 経緯

Studio 社が 10/16 に、同社クラウド環境が第三者の不正アクセス（9/30～10/1）を受け、全顧客のフォーム送信内容などが外部に流出した可能性があると公表しました。

当該サイトは、実行委員会の実施主体でもある HL 社が、Studio 社のツールを利用する形で構築し、イベントの企画運営の観点から、フォーム回答についても保有を続けていましたが、今回、当該サイトのフォーム回答についても流出した可能性があります。

ただし、当該ツールの脆弱性はすでに Studio 社において修正し、不正アクセスに利用された経路は遮断済みです。また、現時点で、不正利用や二次被害は確認されていません。

● 影響

当該サイトの全てのフォーム回答（計約 4,200 件／氏名・メールアドレス・会社名・役職など）が対象に含まれる可能性があります。

なお、IVS2026 サイトでは別サービスを利用しているため、本件事案の対象外です。

● 対応

個人情報保護委員会への報告は、Studio 社から、本件を含む連名の形により行うとともに、関連した詐欺等の悪意あるメール等が送信されるおそれがあるため、HL 社におい

て、情報が漏洩した可能性のある全ての皆様へご連絡を行います。

<本件に対するお問合せ先>

株式会社 Headline Japan

【E-mail】 ivs-office@infinityventures.com

<お問合せ先>

京都市産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室

【TEL】 075-222-3339 【E-mail】 startup@city.kyoto.lg.jp